

3 里地里山管理や利用の実践的手法の拡大

③里地里山を付加価値とした経済活性化の例

兵庫：原木シイタケの生産を通じた森林整備の取組

本モデル事業地には原木栽培のシイタケ生産者が多く、都市に近いので、地元スーパー、直売所等への直接販売を行っている。近隣の他地域では原木を東北地方などの他県から購入することが多いが、このモデル事業地では地元からの供給が主流である。原木を伐採して利用することは、昔のように里山を利用することになり、地域の森林整備に結び付く。

原木シイタケは自然食品であるだけでなく、その消費が森林整備につながり、いわば森林ボランティアへ参加したことと同等の効果があると言える。よって、兵庫県地域振興部宝塚農林振興事務所林業課では、「原木シイタケを選ぶのは誰でもできる森林ボランティア活動」としてアピールし、森林の整備と特産林産物の生産振興を図っている。

取り組みの内容として、生産者の組織化とPR活動が行われている。すなわち、原木シイタケの生産者を組織化するとともに、販売者、森林所有者、森林ボランティア、教育関係者等も交えて、原木シイタケ振興のための検討とPR活動を行っている。平成18年度よりパンフレット、ポスター、シール等を作成し、イベント等でのキャンペーンを順次実施している。

■メンバー

- ・原木しいたけ生産者（10名程度）
- ・パスカル三田
- ・猪名川町道の駅
- ・スーパーマーケット（1～2社）
- ・消費者団体等



ロゴマーク



ロゴマーク入りのパッケージ



イベントにおけるピーアール